



## 2021年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年6月11日

上場会社名 株式会社石井表記 上場取引所 東  
 コード番号 6336 URL <https://www.ishiihyoki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 石井 峯夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 渡邊 伸樹 TEL 084-960-1247  
 四半期報告書提出予定日 2020年6月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年1月期第1四半期の連結業績（2020年2月1日～2020年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第1四半期	2,073	△14.2	△47	—	△53	—	△39	—
2020年1月期第1四半期	2,417	△11.6	58	△74.4	40	△81.4	12	△92.7

(注) 包括利益 2021年1月期第1四半期 △80百万円 (ー%) 2020年1月期第1四半期 18百万円 (△84.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第1四半期	△4.85	—
2020年1月期第1四半期	1.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第1四半期	13,070	2,894	22.1
2020年1月期	12,257	3,056	24.9

(参考) 自己資本 2021年1月期第1四半期 2,894百万円 2020年1月期 3,056百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年1月期	—	—	—	—	—
2021年1月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

下記の通り2021年1月期の連結業績予想を未定とすることから、2021年1月期の期末配当予想も未定とし、業績予想の算定が出来次第、速やかに公表いたします。

### 3. 2021年1月期の連結業績予想（2020年2月1日～2021年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2021年1月期の連結業績予想については、現時点で新型コロナウイルス感染症の終息時期の見通しは立っておらず、合理的な算定が困難であることから、2020年3月19日に公表した業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。今後の動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は(添付資料) 8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は(添付資料) 8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年1月期1Q	8,176,452株	2020年1月期	8,176,452株
② 期末自己株式数	2021年1月期1Q	23,293株	2020年1月期	23,233株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年1月期1Q	8,153,171株	2020年1月期1Q	8,153,219株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響により急速に悪化しております。先行きにつきましても依然として終息時期が不透明であることから、経済への悪影響が長期化する事態が懸念されております。

当社グループにおきましても、海外子会社の一時操業停止、国内外の移動制限に伴う営業活動の停滞等、事業活動で影響を受けました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は20億73百万円（前年同期比14.2%減）となり、営業損失は47百万円（前年同期は58百万円の営業利益）、経常損失は53百万円（前年同期は40百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は39百万円（前年同期は12百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (電子機器部品製造装置)

プリント基板分野では、新型コロナウイルス感染症の影響により、顧客の設備投資延期や営業活動縮小を余儀なくされる状況となり、前年同期と比較し売上高が減少いたしました。

液晶関連分野におきましても、中国においてインクジェットコーターの立ち上げが渡航制限により影響を受け、売上が第2四半期以降に期ずれしたこと、また、中国顧客の操業停止に伴い消耗品販売が減少したことなどから、前年同期と比較し売上高は減少いたしました。

その結果、売上高は4億82百万円（前年同期比37.0%減）、営業損失は61百万円（前年同期は23百万円の営業損失）となりました。

#### (ディスプレイおよび電子部品)

アミューズメント向け部品分野の売上高は、当社得意先の生産増加の影響により、前年同期と比較して増加いたしました。

自動車向け印刷製品についても、新規顧客向け製品の生産がスタートしたことにより前年同期と比較して売上高が増加いたしました。

工作機械および産業用機械分野については、新型コロナウイルス感染症の影響により顧客の需要が減少したことに加え、営業活動も制約を受け前年同期と比較し売上高が減少いたしました。

連結子会社であるJPN, INC. においては、ラベル印刷製品の受注が好調に推移したことなどにより売上高は前年同期を上回りましたが、販売管理費の増加等により前年同期に比べ減益となりました。連結子会社である上海賽路客電子有限公司についても売上高は前年同期を上回りましたが、新型コロナウイルス感染症対策費用の支出等により前年同期に比べ減益となりました。

その結果、売上高は15億88百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益は14百万円（前年同期比82.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ8億13百万円増加の130億70百万円となりました。

流動資産は、76億43百万円となり前連結会計年度末と比べ7億6百万円増加いたしました。これはたな卸資産が4億42百万円、現金及び預金が4億35百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、54億27百万円となり前連結会計年度末と比べ1億7百万円増加いたしました。これは有形固定資産が50百万円、投資その他の資産が55百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて9億75百万円増加の101億76百万円となりました。

流動負債は、64億15百万円となり前連結会計年度末と比べ8億17百万円増加いたしました。これは、支払手形及び買掛金が1億57百万円、未払金が1億43百万円それぞれ減少しましたが、前受金が11億円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、37億60百万円となり前連結会計年度末と比べ1億58百万円増加いたしました。これは長期借入金1億9百万円、繰延税金負債が38百万円それぞれ減少しましたが、リース債務が2億17百万円、その他の固定負債が80百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

純資産は、28億94百万円となり前連結会計年度末と比べ1億61百万円減少いたしました。これは剰余金の配当が81百万円実施したこと、親会社株主に帰属する四半期純損失を39百万円計上したことなどによるものであります。この結果自己資本比率は22.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(連結業績予想について)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内外の経済活動へ影響が広がっており、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績も影響を受けました。現在でも世界的な新型コロナウイルス感染症の終息時期の見通しは立っておらず、今後の景気動向等が不透明な状況の中、当社グループの業績を合理的に算定することが困難であることから、2020年3月19日に公表した業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます、算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。詳細につきましては、本日(2020年6月11日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(配当予想について)

2021年1月期の業績予想を未定とすることから配当予想についても未定とし、業績予想の算定が出来次第、速やかに公表いたします。詳細につきましては、本日(2020年6月11日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,630,282	2,066,124
受取手形及び売掛金	2,702,087	2,501,108
商品及び製品	111,920	235,132
仕掛品	1,626,360	1,849,978
原材料及び貯蔵品	607,504	702,767
その他	258,861	288,225
貸倒引当金	△173	—
流動資産合計	6,936,843	7,643,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,317,946	1,279,400
土地	2,170,813	2,163,903
その他(純額)	1,205,229	1,300,970
有形固定資産合計	4,693,989	4,744,274
無形固定資産		
その他	404,221	405,145
無形固定資産合計	404,221	405,145
投資その他の資産		
その他	280,419	336,297
貸倒引当金	△58,215	△58,120
投資その他の資産合計	222,204	278,177
固定資産合計	5,320,416	5,427,597
資産合計	12,257,259	13,070,935
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,844,394	1,686,402
短期借入金	1,981,113	1,979,709
1年内返済予定の長期借入金	413,000	409,000
未払法人税等	113,797	127,099
前受金	389,821	1,490,095
賞与引当金	20,582	98,652
その他	835,980	624,828
流動負債合計	5,598,689	6,415,787
固定負債		
長期借入金	2,776,000	2,667,000
退職給付に係る負債	512,736	521,104
その他	313,281	572,375
固定負債合計	3,602,018	3,760,480
負債合計	9,200,707	10,176,267

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	1,107,799	1,107,799
利益剰余金	2,030,281	1,909,246
自己株式	△20,002	△20,042
株主資本合計	3,418,077	3,297,003
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,351	△6,325
為替換算調整勘定	△371,471	△406,732
退職給付に係る調整累計額	14,296	10,722
その他の包括利益累計額合計	△361,526	△402,335
純資産合計	3,056,551	2,894,667
負債純資産合計	12,257,259	13,070,935

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
売上高	2,417,729	2,073,967
売上原価	1,818,766	1,617,229
売上総利益	598,962	456,737
販売費及び一般管理費	540,698	503,815
営業利益又は営業損失(△)	58,263	△47,077
営業外収益		
受取利息	1,477	2,418
受取配当金	100	—
受取賃貸料	6,151	4,835
為替差益	—	8,430
その他	1,315	2,921
営業外収益合計	9,043	18,606
営業外費用		
支払利息	13,381	14,273
為替差損	1,992	—
減価償却費	8,162	7,790
その他	3,607	2,510
営業外費用合計	27,144	24,574
経常利益又は経常損失(△)	40,163	△53,045
特別利益		
固定資産売却益	306	1,854
特別利益合計	306	1,854
特別損失		
固定資産除却損	8,385	0
特別損失合計	8,385	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	32,083	△51,191
法人税等	17,858	△11,689
四半期純利益又は四半期純損失(△)	14,225	△39,502
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,882	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	12,342	△39,502



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	14,225	△39,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,389	△1,974
為替換算調整勘定	3,114	△35,261
退職給付に係る調整額	5,763	△3,574
その他の包括利益合計	4,489	△40,809
四半期包括利益	18,714	△80,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,474	△80,312
非支配株主に係る四半期包括利益	239	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

当社グループの在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。本会計基準の適用により、借手のリース取引については、原則、使用権資産およびリース負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しております。

本会計基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従って、本会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

これにより、当第1四半期連結会計期間末における有形固定資産その他が133,561千円、その他流動負債が2,116千円、その他固定負債が132,367千円増加しております。なお、四半期連結損益計算書に与える影響額は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	764,975	1,650,162	2,415,138	2,591	2,417,729	—	2,417,729
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	764,975	1,650,162	2,415,138	2,591	2,417,729	—	2,417,729
セグメント利益又は損失 (△)	△23,429	81,975	58,546	△282	58,263	—	58,263

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	482,158	1,588,939	2,071,097	2,870	2,073,967	—	2,073,967
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	482,158	1,588,939	2,071,097	2,870	2,073,967	—	2,073,967
セグメント利益又は損失 (△)	△61,767	14,794	△46,972	△104	△47,077	—	△47,077

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。